

インパクトパンチ

NC-ETP3

取扱説明書
(2021.12.08 版)



NC-油圧式作業工具総合メーカー

株式会社 西田製作所

このたびは当社製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品の取扱い方法や、注意事項などが記載されています。ご使用の際は、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用されますようお願いいたします。またお読みになった後は、使用者がいつでも見られるところに必ず保管してください。

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、「 警告」は誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意、「 注意」は誤った取扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意として記載しています。なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

目次

使用上の注意	3
工具の仕様	4
刃物サイズと打抜き板厚限度表	4
各部の名称	5
始めに	6
使用方法	7~10
取付ビットについて	10
保守・点検	11
アフターサービス	11

◆使用上の注意

「 警告」

1. 打抜きする際は、オス刃物とメス刃物の組合せに誤りのないようにしてください。組合せを誤りますと刃物および軸の破損、また破片が飛散し重大な事故となるおそれがあります。
2. 作業時は周囲に人がいない事を確認して下さい。特に工具を人のいる方向に向けての使用は絶対にしないでください。破損した場合、破片が飛散するおそれがあります。
3. 作業中は手や指を刃物に近づけないようにしてください。はさまれた場合、切断などの重大な事故になるおそれがあります。
4. 軸および刃物は確実に装着してから打抜きをおこなってください。きちんと装着せずに作動させると、部品が破損し飛散するおそれがあります。
5. 高所で作業する場合は下に人がいないことを確かめてから作業を行ってください。材料や工具を落としたとき、重大な事故になるおそれがあります。

「 注意」

1. 空押し操作は絶対にしないでください。故障の原因となるおそれがあります。
2. 工具を高所から落とすなど過度な衝撃を与えないでください。故障の原因となるおそれがあります。
3. 工具とインパクトドライバとの接続は確実にこなってください。工具の落下など思わぬ事故の原因となるおそれがあります。
4. 不安定な場所で作業を行なわないでください。脚立の上などで無理な姿勢で作業を行ないますと、転倒など事故のおそれがあります。また可動部に巻き込まれるおそれのある衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。長い髪なども帽子を着用したりピンで留めたりして巻き込まれないようにしてください。
5. 使用前には各部に異常がないか必ず点検し、異常があるようであれば使用を中止して下さい。
6. 作業中、工具に異常を感じたら直ちに使用を中止して下さい。
7. 本機の分解や改造は行なわないでください。

◆工具の仕様

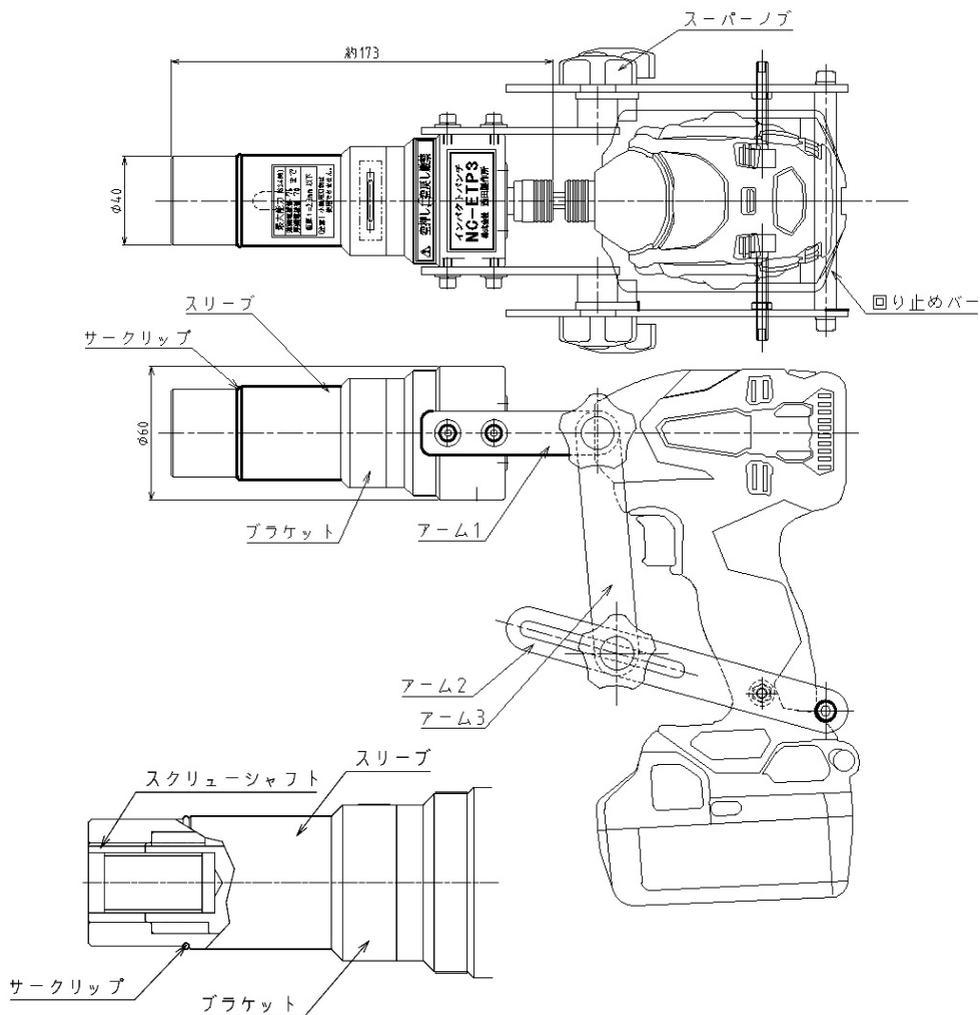
構造	市販インパクトドライバとの脱着式 インパクト力を利用したパンチ
能力	薄鋼電線管刃物 CP31 ~ CP75 2.3t 厚鋼電線管刃物 ACP22 ~ ACP70 2.3t ガイドピンチ横切り刃物 (使用可能) NC-GCC16A、NC-GCC25A 2.3t
適応インパクト ドライバ	14.4V仕様以上のインパクトドライバにセット可能
ストローク	18mm
質量	1.9kg (インパクトドライバ含まず)

※ 出力トルクが相応の物であれば他のインパクトドライバも使用可能ですが、その際は保証対象外となります。また出力トルクが相応の物であってもインパクトドライバの外形形状によりご使用になれない場合もあります。

◆刃物サイズと打抜き板厚限度表

刃物サイズ		打抜き板厚 (mm)
	ACP22	2.3
CP31	ACP28	
CP39	ACP36	
CP51	ACP42	
CP75	ACP54	
	ACP70	

◆各部の名称



本体	1台
F P大軸 (小軸穴なし大軸)	1本
カラー小、中	各1個
取扱説明書	1部
付属品名	個数

◆始めに

1. インパクトパンチ「NC-ETP」（以下：本機）の取付ビット部をご使用のインパクトドライバに装着して下さい。（ビットの取付取外し方法をご使用のインパクトドライバの取扱説明書を参照ください。）
アーム1、アーム2の固定ノブは緩めておいてください。取付け後、取付ビットが抜けないか必ず確認してください。



2. ビットを確実に取り付けたらアーム2をインパクトドライバの後ろ側に回して下さい。（注 アームを装着する際は、指を挟まないように十分に注意して作業を行なってください。）



3. アーム 2 の押さえバーがインパクトドライバのハンドル部分の外側下 (バッテリーに近い側) に当たった状態で固定ノブを固定してください。左右位置決めストoppaがインパクトドライバのグリップの両側面にあたるように調整し、ナットでしっかりと固定してください。
4. プッシュシャフトが最後端まで戻っているか確認して下さい。戻っていない場合はインパクトドライバを逆転作動させてプッシュシャフトを戻してください。インパクトドライバからインパクト音が鳴り出したらプッシュシャフトが戻りきった合図ですのでインパクトドライバの作動を即時停止してください。このときプッシュシャフトが最後端まで戻りきっているにもかかわらず、いつまでもインパクトドライバを作動させ続けしないでください。バッテリーの無駄な消耗になるだけでなく、各部に余計な負荷がかかり本機の故障原因にもなります。

「 注意」過負荷の状態を続けると本機の破損の原因となります。本機への異常な負荷は避けて下さい。

◆使用方法

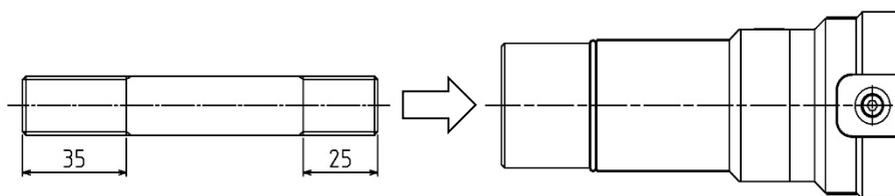
「 注意」 前進側および後退側のストロークエンドでの空押し (前進時あるいは後退時インパクト音が鳴り、過負荷がかかる状態) は、本機の故障の原因となりますので絶対行なわないように願います。刃物、打抜き屑などを取扱う時はケガをするおそれがありますので手袋などを着用し、気をつけて作業を行なってください。

1. スクリューシャフトがブラケットの上端面まで戻っているか確認して下さい。戻っていない場合はインパクトドライバを逆転作動させてスクリューシャフトを戻してください。インパクトドライバからインパクト音が鳴り出したらスクリューシャフトが戻りきった合図ですのでインパクトドライバの作動を即時停止してください。このときスクリューシャフトが最後端まで戻りき

ているにもかかわらず、いつまでもインパクトドライバを動作させ続けしないでください。バッテリーの無駄な消耗になるだけでなく、各部に余計な負荷がかかり本機の故障原因にもなります。

「 注意」過負荷の状態を続けると本機の破損の原因となります。本機への異常な負荷はできるだけ避けて下さい。

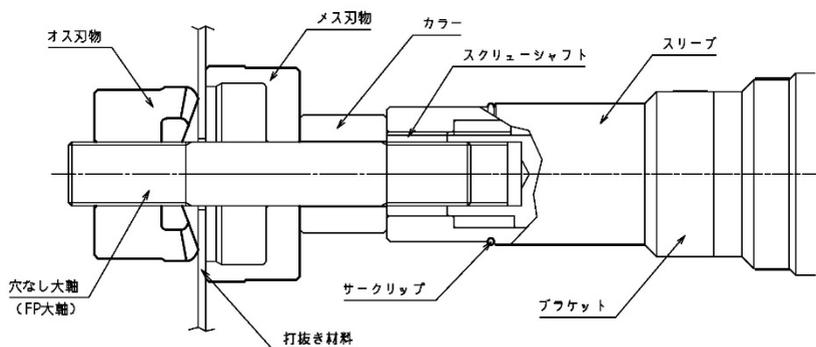
2. 穴あけする材料を準備してください。まず穴あけ位置を決めてから、穴なし大軸が入る下穴（ $\phi 21$ ）をホルソーなどであけてください。
3. 本機のスクリーシャフトに付属の穴なし大軸をねじ込みます。穴なし大軸の外周両端にネジが切っていますが、ネジの長さの短い方を本機にねじ込んでください。最後までねじ込みますとネジ部がほぼ全部入るようになっていきます。（反対にねじ込みますと最後までねじ込んでも10mmくらいネジ部が見えます。）
4. 付属のカラーを穴なし大軸に差込みます。



ネジ部の長さが短い方を全部ねじ込む。

5. お手持ちのトムソンパンチあるいはフリーパンチから必要な刃物を選び出してください。
6. メス刃物を本機の穴なし大軸にセットしてください。
7. 下穴をあけた材料をメス刃物の上にセットしてください。

8. オス刃物を穴なし大軸にねじ込み、打抜く材料をはさみ込みます。



9. インパクトドライバを正転作動させ、打抜きを開始します。ある程度負荷がかかると「ガチ、ガチ」とインパクトの音が鳴り出しますが打抜き完了ではないのでそのままインパクトドライバを作動させ続けてください。

「**⚠ 警告**」インパクトドライバ作動中は指など体の一部をダイス付近に近づけないで下さい。指づめなどはさみ込みの原因となります。

10. オス刃物が材料に食い込んで打抜きが完了するのを確認してください。打抜きが完了したら直ちにインパクトドライバの作動を停止してください。打抜きが完了したにもかかわらず、インパクトドライバを作動続けるとバッテリーの無駄な消費だけでなく各部に余計な負荷がかかり本機破損の原因になります。

「**⚠ 注意**」過負荷による本機破損の場合破損した部品の一部が飛散し作業者もしくは周囲の人がケガをするおそれがあります。本機への異常な負荷はできるだけ避けて下さい。

11. 打抜いた材料をはずしてください。
12. インパクトドライバを逆転作動させスクリーシャフトを元の位置

まで戻して下さい。(戻し時の注意事項は1項参照のこと)

13. オス刃物を穴なし大軸からゆるめてはずしてください。
14. メス刃物をはずし、中に入っているスクラップ(抜き屑)を取出して下さい。スクラップは切断面が鋭くなっている為、ケガをするおそれがありますので手袋などを着用し注意して取出して下さい。

<取付ビットについて>

インパクトドライバに付属しているビットは基本的には対応していますが、確認できているものは以下のメーカーです。

ビットはAタイプ、対辺 6.35 mm ※注

H i K O K I、マキタ、パナソニック、リョービ、MAX

上記のメーカーでもビットの対辺が 8 mmの製品があります。これについては対象外となります。

※注) Aタイプというのは、ベッセル両頭ビットのカタログを参照させて頂きました。(メーカーによりサイズの表現は異なります)

「 注意」ビットによってはセットした時、ビットが抜けて外れる場合があります。その場合は違うビットを使用して外れないことを確認してからご使用ください。

◆保守・点検

1. 本機使用前と使用後には必ず各部の点検を行ってください。
2. ご使用後は必ず本体の汚れを落とし、防錆油などをウエスにしみこませ本体の表面をふいて専用のケースに保管して下さい。とくに摺動部、メス刃物の接着面にはゴミなど異物が付着していないか確認し、いつもきれいな状態にしておいて下さい。
3. 保管の際は以下のような場所に保管しないように注意して下さい。
 - 1) 直射日光が当たるところや、雨や雪のかかるところ。
 - 2) 高温・多湿・粉塵の多いところ。
 - 3) 倒れたり、落下するようなところ。
 - 4) お子様の手の届くところ。

◆アフターサービス

1. 保証期間はご購入日より 6 ヶ月です。
2. 故障、修理、部品のお求めその他のお問い合わせはお買い上げ頂いた販売店もしくは当社営業部までご連絡ください。尚、誤った使い方や弊社の責任でない故障につきましては、保証対象外となり費用を請求する事がありますので御了承ください。

NC-油圧式作業工具総合メーカー

株式会社 **西田製作所**

本社 〒612-8247 京都市伏見区横大路下三栖南郷 21

TEL 075-611-1136 FAX 075-611-4167